



五龍岳周辺概念図

1月2日 (風雪)  
 (タイム)起床3:00 出発5:30  
 白岳16:50 B C 8:00  
 テレキャビン11:00 やまや12:00  
 三島20:00  
 昨日同様風雪だった。朝食の支度をしながら行動を相談する。結局下山する方向と決まった。ただ

し、天気は悪いが杉澤、山下、村松はもう1度白岳に登る事になった。私と毛利はテントキーパー。彼等は5時半出発した。アマチュア無線で下界と交信する。3名とコンタクトできた。外は相変わらずだ。やがて3名帰ってくる。白岳は昨日と同様だった。うだ。全員でテントの中でうまい物を食べる。そして話し合う。結局下山と決定し、BCを撤収した。(文中敬称略)

(発行日不明機関誌「くろゆり」第9号に収録) 後立山3年計画の2年目。会も中堅が順調に育ち足の揃ったパーティーだったが悪天候と闘志不足で登頂出来なかった。北アの吹雪は決して甘くなかった。

第10期冬山合宿

# 五竜岳

2814m  
 後藤 隆徳  
 杉澤 康秀

●遠見尾根と五竜岳

- ▽先発82年12月27日〜30日
- ▽本隊82年12月30日〜83年1月2日
- ▽先発C L後藤隆徳(35) 装備山下芳広(25)
- ▽本隊C L杉澤康秀(33) S L竹端節次(44) 装備毛利哲也(49) 会計杉澤好子(33) 川口諒子(45) 塩崎孝夫(27) 妹尾博彦(26) 新井悟(18)

「とりくみ」  
 昨年敗退した五竜岳の再挑戦。よりに多くの仲間と困難を共有する目的で女性2名を含む久しぶりの大型合宿になった。

1. 82年3月総会で冬山は再度五竜岳と決定。
2. 10月9日〜10日に後藤、杉澤康秀、好子、川口諒子、妹尾、山下、飯田忠三は遠見尾根に荷上げした。
3. 11月27日〜28日に後藤、杉澤康秀、好子、竹端、堀江、川口諒子、土屋友茂、山下、塩崎は富士山で訓練を行った。

先発隊の記録 (後藤隆徳)

12月27日(雪)  
 (タイム)下土狩20:00 神城民宿やまや1:30 (泊)

諸般の事情で山下と2人で先発隊となった。本隊は8人で30日出発。BCで合流予定だった。昨年の敗退が不本意であり今年は何としても登りたかった。今年も雪が少なくスキーヤーはまだいなかった。

12月28日(晴)

(タイム)起床7:00 トレキャビン8:40 出発9:10 一の背髪11:00 B C 14:15 (泊)  
 「やまや」で朝食をとり、車で送ってもらう。荷物の重量は本隊の分もあり非常に重く、後藤36kg 山下34kgだった。  
 ヒイ、ヒイいいながら地蔵の頭に着いた。天気は快晴で後立山がすばらしい。そこで山岳パトロールと会う。トランシーバーでやりとりをしているので聞いてみると、白馬岳小蓮華岳で雪崩事故が